



北海道森林・山村多面的機能発揮対策地域協議会

## 目次

1. 平成30年度の改正事項
2. 森林・山村対策事業の採択要件
3. 採択にあたっての審査項目
4. 事業採択申請から完了までの流れ
5. 活動組織が行うこと
6. 採択申請の準備
7. 平成30年度採択申請の受付

## 1. 平成30年度の改正事項

### 教育・研修活動タイプの上限

これまで 年間12回



H30から 年間6回

### 教育・研修活動タイプの活動とは

- ・森林環境教育、生物多様性保全の調査、体験林業など
- ・1回の開催につき**会員以外**の参加者がおおむね10人以上  
(過疎地域、離島、山村ではおおむね5人以上)

## 2. 森林・山村対策事業の採択要件

対象森林	・森林経営計画等が策定されていない森林
活動計画	・地域環境保全、森林資源利用のうちいずれかは必須 ・市町村による活動の有効性の確認 ・安全講習、技術研修等の計画、実施 ・安全装備の備えと傷害保険加入 ・活動目標の設定と活動成果のモニタリング
活動組織	・会員3名以上、規約 ・森林所有者と協定締結 (所有者が会員の場合は不要) ・会費、林産物売上など自己財源の確保

採択にあたり優先する要件

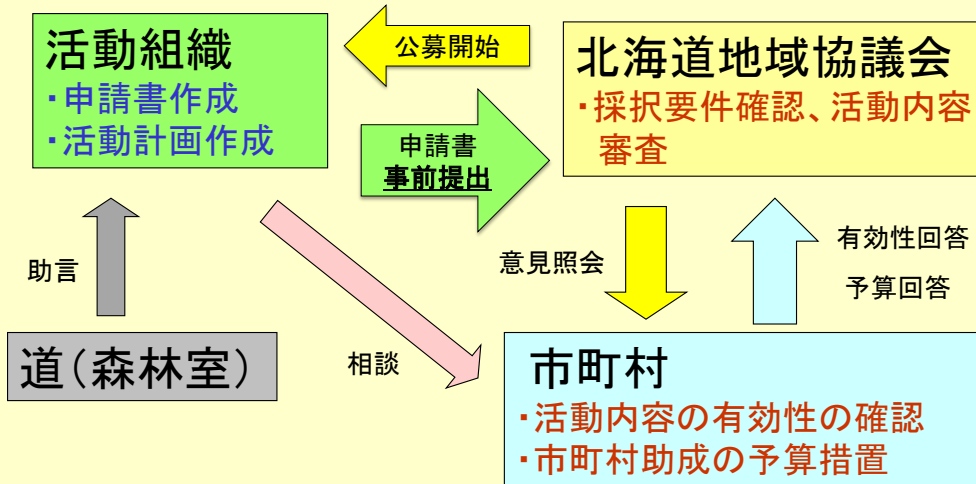
活動経費	<ul style="list-style-type: none"> <li>・活動に地方公共団体の支援が受けられる →市町村の支援が受けられない活動は優先順位が下がる</li> </ul>
対象森林	<ul style="list-style-type: none"> <li>・長期未手入れ里山林での活動(写真等で証明) →長期未手入れ里山林でなければ優先順位が下がる</li> <li>・活動開始から3年未満の活動組織 →同一箇所4年以上となる活動は優先順位が下がる</li> </ul>
活動組織	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域住民等が組織した団体やNPOなど。 →プロの林業事業体は優先順位が下がる</li> <li>・構成員が活動市町村内の多様な人々で構成。 →家族や構成員の少ない組織は優先順位が下がる</li> </ul>

### 3. 採択にあたっての審査項目

森 林	<ul style="list-style-type: none"> <li>・森林経営計画等策定外の森林 →森林調査簿等により確認</li> </ul>
活動計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・活動の有効性に関する市町村意見 →協議会から市町村に文書で照会</li> <li>・安全講習計画の策定と実施 →活動計画書に記載されていることを確認</li> <li>・安全装備の備えと傷害保険の加入 →活動計画書に記載されていることを確認</li> <li>・活動目標の設定と活動成果のモニタリング手法 →活動計画書に記載されていることを確認</li> </ul>
組 織	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会費、林産物売上などの自己財源 →規約又は活動計画書により確認</li> </ul>

## 4. 事業採択申請から完了までの流れ

### (1) 申請書、活動計画書の事前審査



### ○市町村長による活動の有効性の確認

実施要領 第3 実施体制 2 地方公共団体の役割

(2)市町村長は、本対策による取組が円滑実施されるよう、活動組織による管内の活動の有効性を確認するとともに、活動組織への支援・指導等を行うよう努めるものとする。

(様式第14号)

番 号  
年 月 日

〇〇市町村長  
氏 名 殿

〇〇地域協議会会長  
氏 名 印

平成〇〇年度森林・山村多面的機能発揮対策の活動の有効性等に関する意見等について

日頃から、森林・山村多面的機能発揮対策交付金事業の推進にご協力をいただき御礼申し上げます。

さて、今般、森林・山村多面的機能発揮対策交付金の活動を計画している活動組織から貴（市町村）管内において、別添のとおり活動の申請がありました。

つきましては、活動の有効性等について、ご意見を伺いたいので別紙を記載のうえご返送願いたく、ご依頼申し上げます。

## ○市町村による活動の有効性の確認

(別紙)

### 回答用紙

- 1 活動組織名
- 2 活動内容 別添申請書のとおり
- 3 担当者の意見 (該当する項目の□に✓をお願いします)  
 有効である  
 有効性は認められない

その他意見等がありましたら、ご自由に 記載 ください

## ○市町村の助成の有無についての意向確認

(別紙)

### 回答用紙

貴 (市町村) が国の交付金と連携して一体的に補助を行う場合に、この活動組織に対して助成する意志の有無。  
(該当する項目の□に?をお願いします)

- 有 金額 円  
科目 負担金、補助金、その他 ( )
- 無
- 検討中

備考 (予算化の時期など)

## (2) 本申請、採択決定

### 活動組織

・調整額にあわせて申請書を修正

(訂正のない書類は再提出不要)

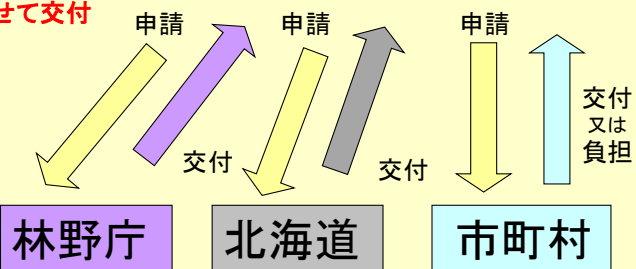
調整額通知

申請書本提出

国、道、市町村の  
交付金、負担金を  
合わせて交付

### 北海道地域協議会

・予算枠の調整  
・国、道、市町村への申請  
・採択決定



## (3) 概算払

### 活動組織

・活動スケジュールと支出の予定にあわせて概算払希望を提出

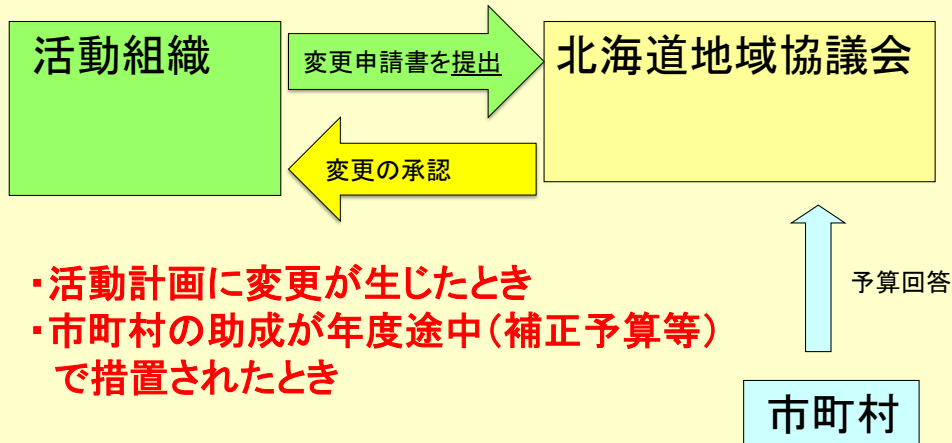
概算払希望を提出

交付金の概算払  
(四半期毎)

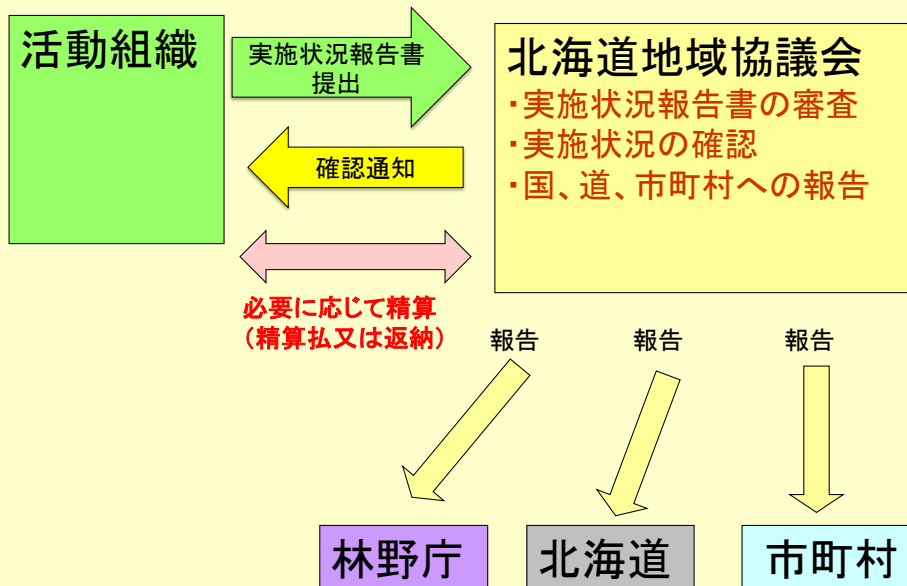
### 北海道地域協議会

・交付金を概算払

#### (4) 変更申請



#### (5) 実施状況報告(実績報告)



## 5. 活動組織が行うこと～活動内容

活動の種類	活動内容	交付金対象費用
地域環境保全	<ul style="list-style-type: none"> <li>・森林内の調査 下草刈除 間伐作業 植林</li> <li>・獣害防止柵等の設置</li> <li>・雑草木等廃棄物搬出</li> <li>・森林資源の森林外移送</li> <li>・森林内外イベント開催</li> <li>・研修講師招聘</li> <li>・活動記録等の作成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・森林作業の日当</li> <li>・林業機械の燃料代</li> <li>・作業者の交通費</li> <li>・講師交通費、謝金</li> <li>・車両燃料代</li> <li>・バス借上げ料</li> <li>・活動に必要な物品の購入</li> </ul>
森林資源利用		
森林機能強化		
教育・研修		
資機材・施設	<ul style="list-style-type: none"> <li>・チェーンソーなどの林業機械</li> <li>・苗木、種駒、構築物資材</li> </ul>	・購入額の1/2助成
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・薪割機、薪ストーブ</li> </ul>	・購入額の1/3助成

## 5. 活動組織が行うこと～必須事項

必ずしなければならないこと	概要
活動記録保存	<ul style="list-style-type: none"> <li>・活動の証拠として、活動記録、写真、金銭出納帳、領収書等を記録・保存</li> </ul>
活動の目標設定と成果のモニタリング	<ul style="list-style-type: none"> <li>・活動の目標を決める。</li> <li>・活動開始前に対象森林を調査(初回調査)し、数値目標を定める</li> <li>・毎年度、数値目標の達成度を調査し、活動の成果を評価する。(モニタリング)</li> </ul>
安全講習等の実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>・安全講習、森林施業技術研修等</li> <li>・毎年1回以上</li> <li>・活動対象森林で実施</li> <li>・会員全員の参加が基本 (会員以外が参加する教育・研修活動タイプと合わせて実施はOK)</li> </ul>



## 5. 活動組織が行うこと－実績の取りまとめ

年度で行った活動は、証明する写真や資料を定められた様式に整理し、地域協議会へ提出。

活動記録	実施日、参加人数、活動内容を整理 (写真、領収書等を関連付け)
作業写真整理帳	活動記録に記載された活動毎に参加者集合写真、作業前・作業中・作業後の状況写真を記録、1頁に整理
金銭出納簿	収入、経費別支出を時系列で整理 (収支については、預金通帳に一致、支出に対応する領収書の写し添付)
<b>モニタリング 結果報告書</b>	<b>活動の目標と設定した標準地の状況、年度の達成度と状況を整理(状況写真添付)</b>
実施状況整理票	活動実績数量、交付金の使途収支総額を整理

## 6. 交付申請の準備

提出書類	作成の留意点
①活動組織規約	様式第10号
②森林所有者との協定書の写し	様式第11号 *所有者が活動組織の会員の場合は不要
③活動計画書	様式第12号
④採択申請書	様式第13号
⑤森林調査簿	振興局林務課、森林室又は市町村役場で交付
⑥森林計画図	活動のタイプ、区域、年度を記載
⑦資機材・施設整備に関する見積書、カタログ等	購入予定価格がわかるもの (希望する組織のみ)
⑧採択決定前着手届	様式第9号(希望する組織のみ)

④採択申請書 (様式第13号) 必ず最新の様式(2018年版)を当協議会のホームページからダウンロードして使用して下さい。

4. 森林・山村多面的機能発揮対策交付金						
取組メニュー	交付単価等	森林面積等	国交付金額	北海道の補助額	市町村の負担額の目安	計
活動推進費	11.25万円	初年度のみ	112,500円	18,750円	18,750円	150,000円
地域環境保全タイプ (里山林保全)	12万円/ha	1.2ha	144,000円	24,000円	24,000円	192,000円
森林資源利用タイプ	12万円/ha	2.3ha	276,000円	46,000円	46,000円	368,000円
森林機能強化タイプ	800円/m	100m	80,000円	13,333円	13,333円	106,666円
教育・研修活動タイプ (回数の上限は6回)	3.8万円/回	6回	228,000円	38,000円	38,000円	304,000円
小計			840,500円	140,083円	140,083円	1,120,666円
資機材・施設の整備	1/2以内	283,000円	141,500円	-	-	141,500円
資機材・施設の整備	1/3以内	32,000円	10,600円	-	-	10,600円
計			992,600円	140,083円	140,083円	1,272,766円
間伐等(除伐、枝打ちを含む。)の実施面積		3.5ha				
当該年度に長期にわたり手入れをしていなかったと考えられる里山林を整備する面積		1.2ha				

「北海道の補助額」「市町村の負担額の目安」は自動計算されますが、現時点で交付を約束するものではありません。

③活動計画書 (様式第12号)

8. 活動の目標と結果を測定するためモニタリング方法 (地域環境保全タイプ及び森林資源利用タイプについて記載)

タイプ名	活動の目標	数値目標	モニタリング方法
地域環境保全タイプ	混み合った林をすっきりして、健全な状態にしたい。	相対幹距比〇ポイントアップ	相対幹距比
地域環境保全タイプ	森林内を整備して、森林散策や森林学習を安全に実施できるようにしたい。	森林散策や森林学習に適したエリアを〇〇ha確保する。	森林散策や森林学習に適したエリアの確保面積
森林資源利用タイプ	木材を持続的に生産し、利用することで、里山の景観を維持したい。	薪の年間利用量 〇〇m <sup>3</sup>	薪の搬出利用量を計測

(注) 目標の設定及びモニタリング方法の記載について 別に定めるガイドランを参考とすること。

H30が取り組み初年度となる活動組織で、活動開始前に数値目標の設定が困難な場合は「初回調査実施後にすみやかに報告します」と記載しても可。

## モニタリングのガイドライン、手引きは当協議会のホームページからダウンロードできます。

里山林の保全管理や資源利用をすすめる活動を推進します。

**北海道  
森林・山村多面的機能発揮対策  
地域協議会**

〒060-0004 札幌市中央区北4条西5丁目林業会館4F  
北海道森と緑の会内  
TEL:011-261-9022 / FAX:011-261-9032  
E-mail: [morimidori@h-green.or.jp](mailto:morimidori@h-green.or.jp)

トップ TOP | **事業の概要について** DDM42N | 事業に関するQ&A Q&A | 事業の実施 PLAN | 申請様式 DOCUMENTS | お問い合わせ CONTACT

「事業の概要について」の頁を開く

事業の概要

事業の詳細は「手引書」及び「要綱」、「要領」をご覧ください。

平成29年6月16日  
モニタリングのガイドライン（交付金の効果の調査・確認方策について）とその手引書を掲載します。  
各活動組織におかれましては、これに基づき、活動の目標とモニタリング方法を決定し、活動計画書（様式第12号）に記載するとともに、活動開始前と活動実施後の標準地の状況を調査し、モニタリング結果報告書（様式第19号）を提出することが義務づけられています。

■ **モニタリングのガイドライン（林野庁作成）**  
■ **モニタリングの調査手引き（北海道地域協議会作成）**  
    **モニタリング調査の手引き**    **立木幹材積表**

\*これらの内容は、改訂されることがありますので、必ず最新のものをお使いください。

平成29年4月18日 実施要綱・実施要領を平成29年度版に更新しました。

→ **森林・山村多面的機能発揮対策実施要綱**  
（最終改正 平成29年3月31日28林整森第331号）  
→ **森林・山村多面的機能発揮対策実施要領**  
（最終改正 平成29年3月31日28林整森第334号）

お知らせバックナンバー

▶ 2018年1月

### ③活動計画書（様式第12号）

#### 9. 年度別に実施する安全講習等の名称及び内容

年度	講習の名称	講習の内容
30年度	応急手当	野外での応急処置、ハチ刺され対策、熱中症対
	伐木安全講習	チェーンソーの安全操作、間伐技術
31年度	刈払機安全講習	刈払機の安全操作
32年度	林業機械安全講習会	刈払機、チェーンソーの安全講習

#### 10. 安全のために装備する物品及び障害保険の名称

安全装備：ヘルメット〇〇個、救急用具、イベント用子供用ヘルメット〇〇個

障害保険：森林ボランティア保険（NPO森づくりフォーラム）

### ③活動計画書 (様式第12号)

#### 13. その他

##### (1) 写真

取組の実施箇所に長期わたり手入れをしていなかっと考えられる里山林がある場合はその写真を添付すること。

##### (2) 収入

会費、林産物収入など森林・山村多面的機能発揮対策交付金以外の収入について記載すること。

項目 (費目)	内 容	年間収入見込額 (円)
会費	1人年間〇〇円 × 〇人	〇〇〇〇円
林産物売上	薪販売 〇〇m <sup>3</sup>	〇〇〇〇円
イベント参加料	森林観察会参加費(保険料) 1人1回〇〇円	〇〇〇〇円

### ③活動計画書 (様式第12号)

#### (3) 委託

取組を委託する場合は、次を記載すること。

活動計画における取組についての委託			
・委託機関名			
〇〇森林組合			
・連絡先 (電話番号等)			
〇〇〇〇〇-〇-〇〇〇〇			
・委託時期			
30年8月			
・委託内容 (委託する区域の林小班、委託業務の内容 (面積、作業の内容) 等)			
急峻な〇小班の刈払い、懸かり木の処理			
・委託金額			
500,000円			

活動を作業委託する場合は、**活動組織としての活動 (作業の監督や林内の見回り等)**を活動計画の中で必ず明記すること。

**任せっぱなしはダメ!**

委託作業は、専門技術が必要、危険などの理由で活動組織が自ら実施できないものに限り、活動の全てを外部に委託することはできません。

## ①活動組織規約

(様式第10号)

名称には「活動組織」の語が入っても入らなくても可。ただし、各様式間できちんと統一してください。

〇〇活動組織規約(例)

平成〇年〇月〇日制定

(構成員)

第4条 活動組織の構成員は別紙のとおりとする。

なお、活動組織の構成に当たっては、地域の実情を踏まえ、関係者が十分協議し、備考欄に構成員の所属等を記載するよう努める。

活動計画書の収入に「会費」を記載している場合は、必ず規約に明記してください。

(会費)

第15条 前条第二に掲げる収入として、会員から月(年)〇〇円の会費を徴収するものとする。

## ①活動組織規約 (別紙)構成員名簿

### 3. 構成員

#### (1)個人

役職名	氏名	住所	備考
会長	〇〇 〇〇	〇〇市 〇〇〇〇	〇〇株式会社
副会長	▽▽ ▽▽	〇〇町 ▽▽▽▽	〇▽産業(株)
会計	×× ××	××市 〇〇〇〇	××市役所
会員	□□ □□	〇〇市 〇〇〇〇	無職

### ⑤ 森林調査簿

振興局林務課、森林室、市町村役場で交付してもらいます。

森林調査簿

地域 市町村

出力年月日 2019年 2月 23日

1頁 / 1頁

2月 23日

経営計画

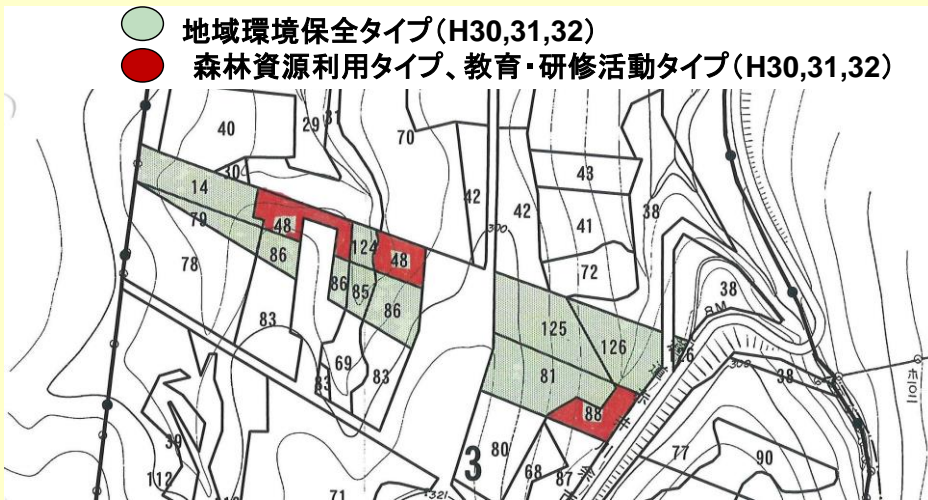
ここに何も記載されていないことを確認！

年番 年番

種類 度号 度号

### ⑥ 森林計画図

森林調査簿と一緒に交付してもらいます。  
活動のタイプ、区域、年度を記入します。



## ⑧採択決定前着手届（様式第9号）

平成30年 4月 2日

北海道森林・山村多面的機能発揮対策地域協議会  
会長 宮内 泰介 殿

〔活動組織〕

住 所 **〇〇市〇〇町△△1丁目××番地**  
 団 体 名 **〇〇の森保全の会**  
 代表者名 **代表 山村 森雄**

平成30年度 森林・山村多面的機能発揮対策交付金採択決定前着手届

森林・山村多面的機能発揮対策実施要領の別紙3の第5の7の規定に基づき、別記条件を了承の上、下記のとおり提出します。

記

1. 事業費 **〇〇〇〇〇〇円**
2. 事業主体 **〇〇の森保全の会**
3. 着手予定年月日 平成30年 4月 10日
4. 採択決定前の着手を必要とする理由 **〔記載例〕**  
**融雪後、すみやかに活動対象森林の見回りを行い、作業計画を検討するため**  
**モニタリング年次調査で指標としている林床植物の調査を行うため**

## 7. 平成30年度採択申請(事前審査)の受付

採択申請に必要な様式は、当協議会のホームページに掲載していますので、これを使用して申請の準備を進めて下さい。

「申請様式」の頁を開く

北海道森林・山村多面的機能発揮対策地域協議会

〒011-261-9022 / FAX:011-261-9032  
mail: morimidori@h-green.or.jp

トップ 事業の概要について 事業に関するQ&A 事業の実施 申請様式 お問い合わせ

協議会について

最新のお知らせ

2018/1/17  
2018/1/14 H29年度活動事申報告会/H30年度採択委員会を開催します。

2017/9/27 平成30年度の交付金に係る計画(見込み)をお知らせ下さい。

2017/9/1 技能・安全研修(チェーンソー)の申し込みの開催について

2017/5/9 平成29年度O&A集をアップしました

お知らせバックナンバー

- 2018年1月
- 2017年9月
- 2017年5月
- 2017年4月
- 2017年2月
- 2016年12月
- 2016年11月

平成30年度原の各種様式を仮掲載します。正式版は2月16日に掲載する予定です。(平成30年1月24日)

※「実施要領」「実施要領」は事業の概要のページにあります。

必要な書式をクリックしてダウンロードしてご使用ください  
 森林・山村多面的機能発揮対策実施要領 様式集 (平成30年度一部改正)

番号	様式名	作成者	申請(提出)先
採択申請に必要な書類	1 活動組織規約(例) (様式第10号Word版) <変更なし>	活動組織	地域協議会
2 森林・山村多面的機能発揮対策交付金の実施に関する協定書(例) (様式第11号Word版) <変更なし>	活動組織	地域協議会	
3 森林・山村多面的機能発揮対策交付金に係る活動計画書 (様式第12号Excel版) (様式第12号Word版) (記載例) <記載内容変更>	活動組織	地域協議会	
4 森林・山村多面的機能発揮対策交付金に係る採択申請書 (様式第13号Excel版) (記載例) <記載内容変更>	活動組織	地域協議会	
5 森林・山村多面的機能発揮対策交付金採択決定前着手届 (様式第9号Word版) <変更なし>	活動組織	地域協議会	



## 7. 平成30年度採択申請(事前審査)の受付

採択申請(事前審査)の受付期間

平成30年2月21日(水)～3月9日(金)  
必着

(採択決定までのスケジュール)

3月中旬 「活動の有効性」について市町村に意見照会

4月中頃 採択調整額の通知→本申請の提出

6月 採択決定通知

6月以前に活動の着手する活動組織は、必ず「採択決定前着手届」を提出してください。

平成30年度も安全に楽しく活動しましょう。



御静聴ありがとうございました